

平成 28 年度 第 4 回 複合型サービスきょうりつ（看護小規模多機能型居宅介護）
運営推進会議議事録

日時 : 平成 28 年 11 月 25 日(金) 14:00 ~ 15:10
場所 : あやべ協立診療所 3F 複合型サービスきょうりつ家族談話室
参加者 : 綾部市 : 大島 けい子様
地域包括支援センター : 西野 知子 様
利用者の家族代表 : 柴田 直美 様
複合型サービスきょうりつ
(管理者) : 大槻 美智代
(計画作成担当者) : 白波瀬 実

欠席者 : 地域住民の代表 (民生委員) : 安達 一男 様

1、 報告事項

- ・ 10 月実績 : 延べ登録者数 26 名
短期利用 0 名
- ・ 平均介護度 : 2.92 (10 月時点)
- ・ 利用地域 : 青野、神宮寺、幸通、上野、宮代町、忠、黒谷、小西、小貝、広瀬、広小路、綾中、岡、物部、上延町、中筋、味方、大島、高津、田野、川糸、上野
- ・ サービス別 延べ提供数
通い : 438 回 泊り : 232 回 訪問 (介護) : 133 回 訪問 (看護) : 31 回
全サービス提供回数 832 回 (一人あたり週平均サービス提供回数 7.0 回)
(前回 8 月の実績)
通い : 432 回 泊り : 215 回 訪問 (介護) : 145 回 訪問 (看護) : 40 回
全サービス提供回数 790 回 (一人あたり週平均サービス提供回数 6.1 回)

・ サービスごとの特徴

通いサービス…利用回数は横ばい。特に大きな変化なし。

泊りサービス…宿泊定員となる日が 4~5 回ある。希望日が重なると調整している。

訪問 (介護) …回数微減。

訪問 (看護) …中断の影響でやや少なくなっている。

ターミナルケア…居宅介護サービス利用者であったが、夜間急な体調変化あり病院へ行かれたが入院できず。医師からの依頼もあり複合型登録利用開始となった。夜間のうちに看護師と介護職で受け入れ対応。家族も付き添われる中で翌朝亡くなられた。短時間で様態の変化が大きく、スピーディーな対応が必要であった。

2、 課題

新規依頼が続いている。職員体制の確保が課題。3 対 1 の体制基準を保つ必要がある。柔軟なサ

サービス提供が必要なサービスであるため、外出やゆったりとした時間で話し相手になることを考えると、もっと人員に余裕があるとよいと感じる。地域のボランティア募集を検討することとした。

3、地域の状況、要望・助言

高齢者の冬場の火の取り扱いに注意が必要。エアコンの使用をすすめるが、操作ができない方もある。

市で行方不明の心配がある方の事前登録が増えている。冬場は早期に発見できないと暗くなり体が冷えるのも早い。転倒して動けなくなっておられることも考えられる。事前登録は顔写真も分かるようになってきている。警察や地域包括支援センターとも連携する。市の制度でGPSの貸出を行っている。しかし、充電や本人が持ち歩けるかが課題となる。

今月は地域包括支援センターにて、消費者被害が目立ってきている。安く商品を販売して、その後高額な商品を販売する商法との情報あり。高齢者がクーリングオフ制度を利用するのは困難なことも考えられる。地域全体に注意啓発を行うことも難しい。

民間企業が行っている30分体操が人気。費用はかかるが、介護予防も含めた良い地域資源となっていると感じる。

市の保健センターとスイミングスクールの連携で転倒予防や健康づくりの試みも行われている。地域包括ケアが進められている中、地域住民でできるボランティアなどの取り組みが重要となってくると感じる。

4、その他

1) 外部評価に向けて

従業者自己評価後、事業所全体での検討は途中段階となっている。現時点で集約した内容を報告。前回の改善計画における実施した具体的な取り組み、今年度の現時点での事業所自己評価を説明行った。次回の運営会議で最終確認を受ける予定とした。

(外部評価スケジュール)

- ・自己評価・事業所評価集約中 > 11月事業所自己評価の途中経過報告
- > 1月事業所自己評価の確認 > 3月公表用の内容確認

2) 1月27日(土) 9:30~11:30「きょうりつカフェ ひだまり」 認知症カフェ開催

○ 次回、運営推進会議日程 平成29年3月24日(金) 14時(予定)

以上